

物流Weekly (2004年8月30日掲載)
8面掲載 総合
「倉庫改革」のセミナー開く

日本ロジファクトリー（NLF、大阪市中央区）と中央システムサービス（CSS、同西区）は25日、「目指せ！物流コスト30%ダウン 倉庫改革セミナー」を開催。

NLFの中根治取締役は「自社の経営数値を正確に把握するためには商売で最も大事な『値決め』を正確、迅速に行うためにITは高い効果を発揮する」「お客様との情報共有を円滑にするために、多くの情報をやり取りする物流業で最もIT活用効果が高いのが受発注データ交換」などポイントを説明した。

CSSの村田純氏はSSA WMS（倉庫管理システム）の導入メリットについて「詳細なロット管理・処理単位（入荷・棚入・出荷など）ごとにリアルタイム更新・リードタイムの短縮が可能。運用コスト削減や顧客サービスの向上につながる」とした。

NLFの石橋岳人取締役は、システム導入のポイントとして「目的を明確化する事。システムの目的の確認や現場の現状分析が重要」とまとめた。

【岡本 廣之】